

【岩手県】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	岩手県
担当課名	文化スポーツ部スポーツ振興課 教育委員会事務局保健体育課
電話番号	019-629-6794 019-629-6192

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	1,161,882人	部活動数	1,344部活
市区町村数	14市15町4村	都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置予定あり
公立中学校数	144校	都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済
公立中学校生徒数	28,443人		

実証事業に参加した市区町村数	3市1町1村
実証事業に参加した拠点校数（域内の合計）	26校
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数（域内の合計）	22部活

地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

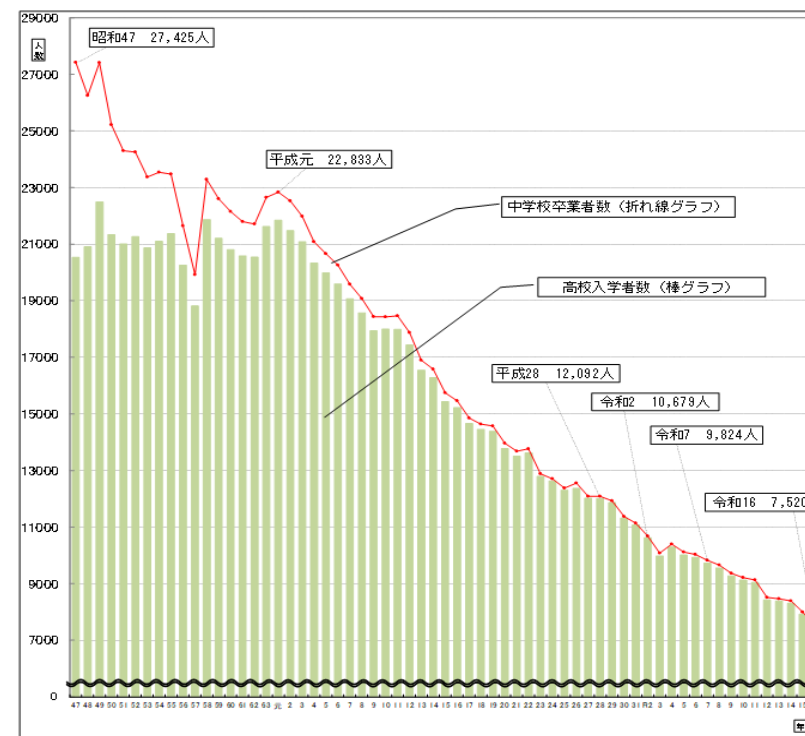
本県における部活動は、他都道府県と比較して高い部活動加入率のもと、これまで地域の実情に合わせた形で行われ、人格形成に多大な影響を与えています。

一方、生徒数の減少や中学生のスポーツ・文化活動の多様化により、学校にある部活動だけでは中学生のニーズに応えることが難しくなってきた等の状況を踏まえ、「中学生本位の有意義なスポーツ・文化活動の在り方の方向性を整理」することを目的として検討を行った有識者会議では、「望ましい活動・環境の姿」の実現に向け、中学生のスポーツ・文化活動を支える各主体（市町村・市町村教育委員会、学校、関係団体、指導者）に求められる役割・取組を令和3年3月に提言としてまとめました。

県及び県教育委員会は、有識者会議の提言及び令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁が国のガイドラインを策定したことを受け、「岩手県における部活動の在り方に関する方針（改定版）」を全面的に改定し、令和6年1月に新たに「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」を策定し、学校部活動の地域クラブ活動への移行について、まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進、平日の環境整備はできるところから、関係者からなる協議会等を設置し、検討体制を整備することとしました。

各市町村においては、地域クラブ活動への移行について、地域の実情に応じ、関係者の共通理解の下、できるところから取組を進めることを求めており、実施可能なスポーツの競技種目や活動等から取り組むこととしています。

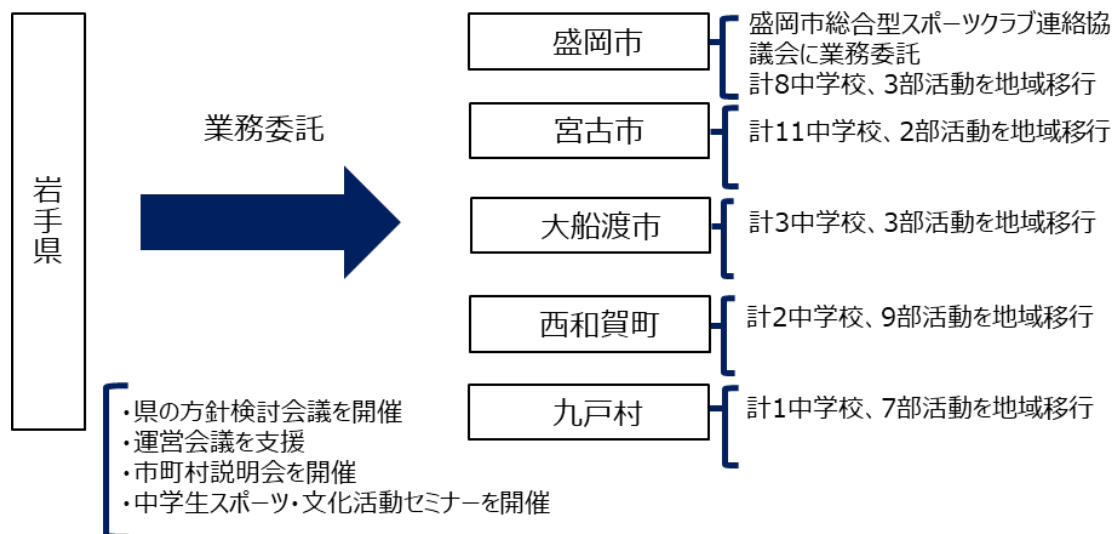
岩手県における中学校卒業生数及び高等学校入学者数の推移



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼事業実施体制図（岩手県と市町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● 教育委員会（保健体育課）

- ・市町村教委や中学校等に対する制度説明、情報展開
- ・学校部活動の地域連携に対する取組支援
- ・希望する教職員に対する兼職兼業の促進
- ・県の方針、手引き（学校部活動分野）の改定
- ・県中体連、中分連主催大会への助言等

● 首長部局（文化スポーツ部スポーツ振興課）

- ・市町村スポーツ所管課への制度説明、情報展開
- ・受け皿想定団体への制度説明・情報展開
- ・県単位でのスポーツ団体との連携
- ・指導者の質・量の確保に向けた取組
- ・地域スポーツ団体の受入れ体制整備、サポート人材の活用
- ・県の方針、手引き（地域スポーツ分野）の改定
- ・県内スポーツ団体主催大会等への助言

年間の事業スケジュール

時期	事業内容	備考
5月	再委託契約、再々委託契約、県関係室課打合せ①	
5月～	運営会議、実証事業等の支援、市町村等への制度説明	通年
7月	岩手県の方針策定検討会議①	
9月	岩手県の方針策定検討会議②	
10月	県関係室課打合せ②	
11月	岩手県の方針策定検討会議③	
12月	市町村説明会	
1月	県の方針策定、県主催セミナー及び県の方針説明会の開催、市町村説明会	
3月	事業完了報告書・成果報告書等の作成	

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

実証事業を実施する市町村が設置する検討組織への指導・助言等を行い、地域クラブ活動を実施する上での成果や課題を整理し、持続可能な組織体制の整備を支援する。

取組の成果

- ・ 令和5年3月に県が作成した「公立中学校の学校部活動における地域クラブ活動への移行に向けた手引き」を活用し、各市町村を訪問（5市町村5回）
- ・ 「岩手県における学校部活動及び新たなクラブ活動の在り方に関する方針」策定にむけ、県内の関係団体やPTA、教職員の代表を構成員とする検討会議を開催。（3回）令和6年1月方針を策定。
- ・ 学校部活動の適切な運営体制の整備に向け、地域クラブ活動への移行に向けた環境整備等に関する説明等を実施。（2市町及び10校 計12回）
- ・ 望ましい学校部活動及び新たな地域クラブ活動の具体的な実践をもとに意見交流し、成果等の普及を図るためセミナーを開催。（1回）

特に工夫した事項

- ・ 手引きの作成において、国の動向等により、必要な修正を加えることを明記し、柔軟な対応が可能とした。
- ・ 県の方針を広く普及させる取組として、セミナーを活用した行政説明を実施、オンラインによる配信。
- ・ 県における様々な情報の共有や役割分担等を明確にするため、文化スポーツ部と教育委員会の定期的な打合せを開催。

今後の課題と対応方針

岩手県における地域クラブ活動の効果的、効率的な体制の整備・充実に向け、関係団体等との十分な情報共有、緊密な連携が必要なことから、今後、協議会を設置し、県として市町村の地域クラブ活動への移行を進めていくこととしている。

令和5年度 岩手県中学生スポーツ・文化活動セミナー

地域クラブ活動ってこんな感じ!!

身近な実践例 からひろげる、実践の輪!

日時 **1/27 (土)** (受付12:00~) **12:20~16:00**

会場 **岩手県公会堂 大ホール (参加無料)**

定員 ● 参集：500名 ● オンライン：300名

【講演】 官民共同による、スポーツ環境の整備とまちづくり
バレーボールでつながるまちプロジェクト
(株)オガール代表専務取締役 おかざき たかひろ
(株)バレーボールコミッション代表 岡崎 希裕

【パネルディスカッション】
望ましいスポーツ・文化活動の環境
～実践を通して考える～

★パネリスト

- ・ 保護者の意見 岩手県PTA連合会副会長 福田 育英
- ・ 指導者の視点 岩手町立川口中学校教諭 松村 洋介
- ・ 文化団体のビジョン 北上ミュージックコース 千田 優子
- ・ 指導者の育成 (一社)岩手県バスケットボール協会専務理事 藤原 修

★コーディネーター
株式会社IBC岩手放送アナウンサー 長谷川 肇

【行政説明】
「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブの在り方に関する方針」
岩手県教育委員会事務局保健体育課 小野寺 丈晴

【お申込み・お問い合わせ先】
岩手県教育委員会事務局保健体育課
TEL 019-629-8181
FAX 019-629-8199
E-mail 080006@pref.iwate.jp
申込用二次元コード

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

- ・指導者に足し、体罰等の不祥事防止に向けた研修を実施し、地域クラブ活動の質の保障に向けた取組を行う。
- ・競技団体や総合型地域スポーツクラブの指導者を対象として、指導者資格取得のための支援を行う。
- ・指導者の確保に対する支援

取組の成果

- ・県立学校の全教職員を対象する研修プログラムを活用し、研修を予定していたものの、研修時期や各市町村の事業進捗の遅れにより実施できなかったもの。
- ・研修については、各市町村でも行うこととしているが、事業の性質上、各市町村の予算確保が遅れることもあり、実証期間に限られることから、研修プログラムのオンライン配信等により、通年対応できる環境としたい。
- ・部活動の地域移行の受け皿の一つとして期待されている総合型地域スポーツクラブ等に対し、指導者資格取得に係る受講料や交通費を支援することができた。
- ・地域の実情により十分な人材を確保することが困難である状況を踏まえ、手引きにおいて方策等及び部活動指導員の活用や指導を希望する教員の兼職兼業について整理した。

特に工夫した事項

- ・令和3年2月17日付け「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を受けた公立学校の教師等の兼職兼業の取扱い等について」の内容を改めて手引きにおいて周知し、市町村において留意すべき事項を周知した。あわせて、指導を希望しない教員に従事させないよう改めて周知した。

今後の課題と対応方針

- ・再発防止「岩手モデル」部活動指導者研修資料等を活用し、指導者による体罰・ハラスメントのない活動指導の在り方、体罰・ハラスメントを「しない させない ゆるさない」とした風土の醸成と指導者一人ひとりの体罰・ハラスメント防止に対する意識の改革を一層徹底。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

実証事業を実施する各市町村、県のスポーツ関係団体等と情報共有しながら、各地域特有の課題解決に向けた支援を実施する。

取組の成果

- 「岩手県における部活動の在り方に関する方針」について、国のガイドラインを参考に地域連携・地域移行等の項目を加えて全面的に改定するため、関係団体、学校、保護者の代表等を構成員とする有識者会議を設置し、様々な意見等を伺いながら策定を進めた。
- 県中体連と情報共有しながら、各競技における参加資格の緩和や地域クラブ活動の参加状況等の把握に努めた。

特に工夫した事項

- 有識者会議について、教職員団体や総合型地域スポーツクラブの代表、専門性を有する大学教授等、あらゆる分野から意見聴取ができる場とし、今後、協議会の設置に向けた足がかりとした。

今後の課題と対応方針

- 有識者会議の構成員をもとに、今後、県による協議会を立ち上げ、県における地域クラブ活動の推進状況や各市町村の現状など十分な情報共有等を通じて緊密に連携していけるよう体制を整備する。

団体又は機関名	職
岩手県中学校校長会	岩手県中学校校長会が選任した者
岩手県高等学校校長協会	岩手県高等学校校長協会が選任した者
岩手県特別支援学校連絡協議会	岩手県特別支援学校連絡協議会が選任した者
一般社団法人岩手県私学協会	一般社団法人岩手県私学協会が選任した者
岩手県市町村教育委員会協議会	岩手県市町村教育委員会協議会が選任した者
一般社団法人岩手県PTA連合会	一般社団法人岩手県PTA連合会が選任した者
岩手県高等学校PTA連合会	岩手県高等学校PTA連合会が選任した者
岩手県教職員組合	岩手県教職員組合が選任した者
岩手県高等学校教職員組合	岩手県高等学校教職員組合が選任した者
岩手県中学校文化連盟	岩手県中学校文化連盟が選任した者
岩手県中学校体育連盟	岩手県中学校体育連盟が選任した者
岩手県高等学校文化連盟	岩手県高等学校文化連盟が選任した者
岩手県高等学校体育連盟	岩手県高等学校体育連盟が選任した者
岩手県青少年野球団体協議会	岩手県青少年野球団体協議会が選任した者
公益財団法人岩手県体育協会	公益財団法人岩手県体育協会が選任した者
岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が選任した者
岩手県スポーツ少年団	岩手県スポーツ少年団が選任した者
一般社団法人岩手県芸術文化協会	一般社団法人岩手県芸術文化協会が選任した者
国立大学法人岩手大学	国立大学法人岩手大学が選任した者
岩手県ふるさと振興部学事振興課	総括課長
岩手県文化スポーツ部文化振興課	総括課長
岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課	総括課長
岩手県教育委員会事務局教職員課	総括課長
岩手県教育委員会事務局学校教育室	学校教育企画監
岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課	総括課長
岩手県教育委員会事務局保健体育課	総括課長

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項

これまでの実践研究の成果や課題を実証事業を実施する市町村と共有し、適切な費用負担や困窮世帯への支援策の取組を支援する。

取組の成果

- 「公立中学校の学校部活動における地域クラブ活動への移行に向けた手引き」において、地域クラブ活動の実践例を示し、想定される経費について明示したもの。実証事業運営団体においては、手引きを参考に運営に必要な経費を算出し、費用負担検討の参考としたもの。
- これまでの実践研究をもとに、生徒・保護者向けアンケートを運営団体に提供し、費用負担に係る意向確認に役立てた。

【参加費試算】・・・国等の謝金単価等により試算した場合。

- 指導者謝金：1,600円の場合（類似事業の1時間当たりの単価）
- 指導者交通費：1,000円の場合（県予算要求単価）
- 指導時間：3時間（休日の活動の1日当たりの指導時間）
- 年間活動回数：35回（類似事業の年間の休日の回数）
- 指導者人数：9名（町内の中学校の部活動数を考慮した人数）
- 活動場所使用料：0円
- 傷害保険料：800円（スポーツ安全保険）
- 参加生徒：120名（町内中学校のおおよその生徒数）とした場合、
 $(1,600円 \times 3時間 \times 年間35回) + (1,000円 \times 年間35回)$
 $= 203,000円 \times 9名 = 1,827,000円（年間運営費）$
 $\rightarrow 1,827,000円 \div 120名 = 15,225円 + 保険料800円$
 $= 16,025円 \therefore 約16,000円（参加生徒1名当たりの費用負担額）$
※ 1月当たり約1,330円程度

特に工夫した事項

- 「公立中学校の学校部活動における地域クラブ活動への移行に向けた手引き」において、令和3、4年度に実施した実践研究の例をもとに活動経費の例を示し、運営団体等に求める事項として、可能な限り低廉な会費・参加費とするよう求めている。

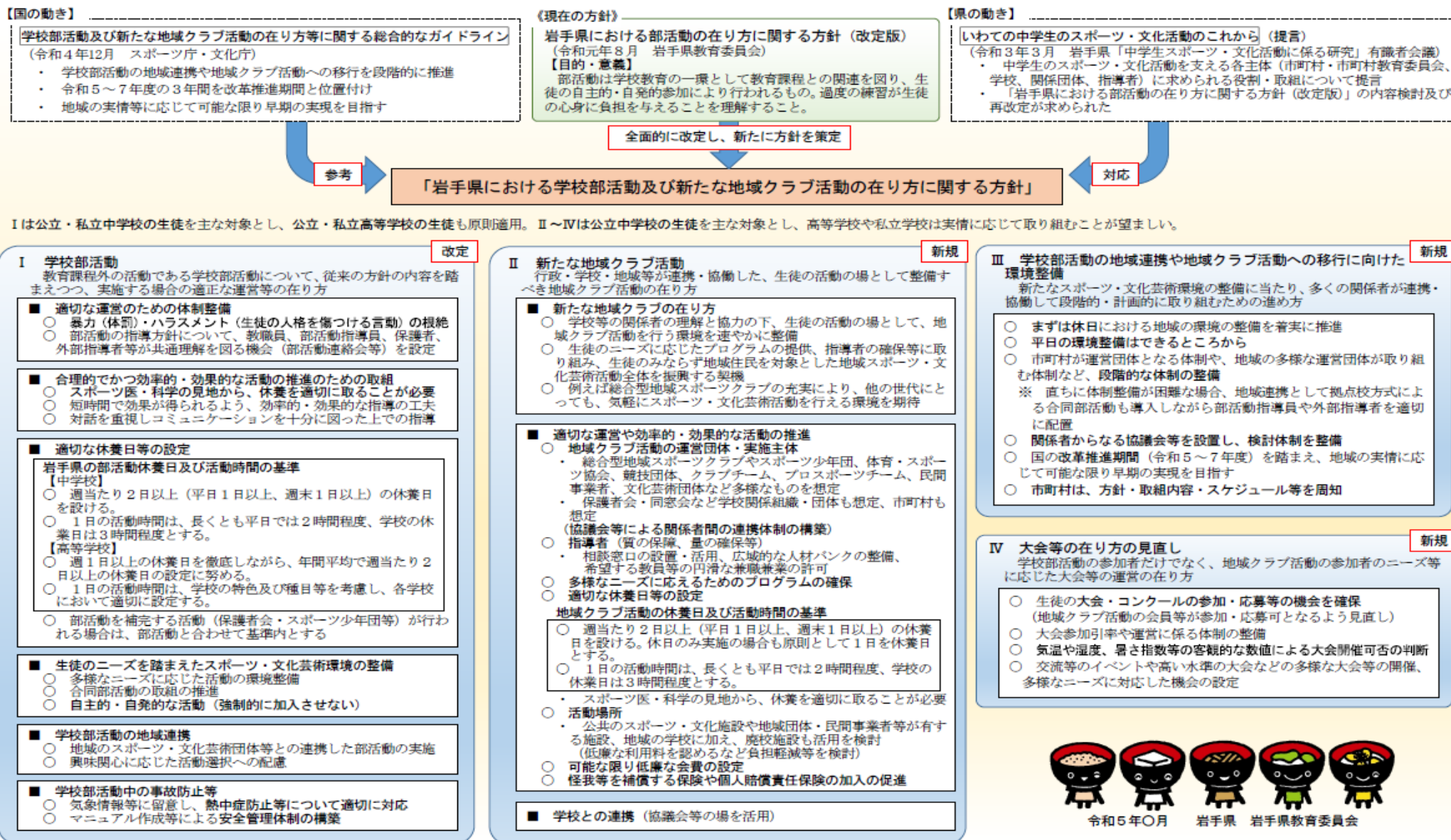
今後の課題と対応方針

- 生徒数の減少により、学校単位での活動運営が困難な状況の中で、中学生のニーズに応えるため地域単位で運営を支える体制を構築する必要があり、地域の実情に合わせた持続的な活動の維持と中学生が参加しやすい活動の両立のため、活動の維持、生徒の移動負担など多くの事例を収集する。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

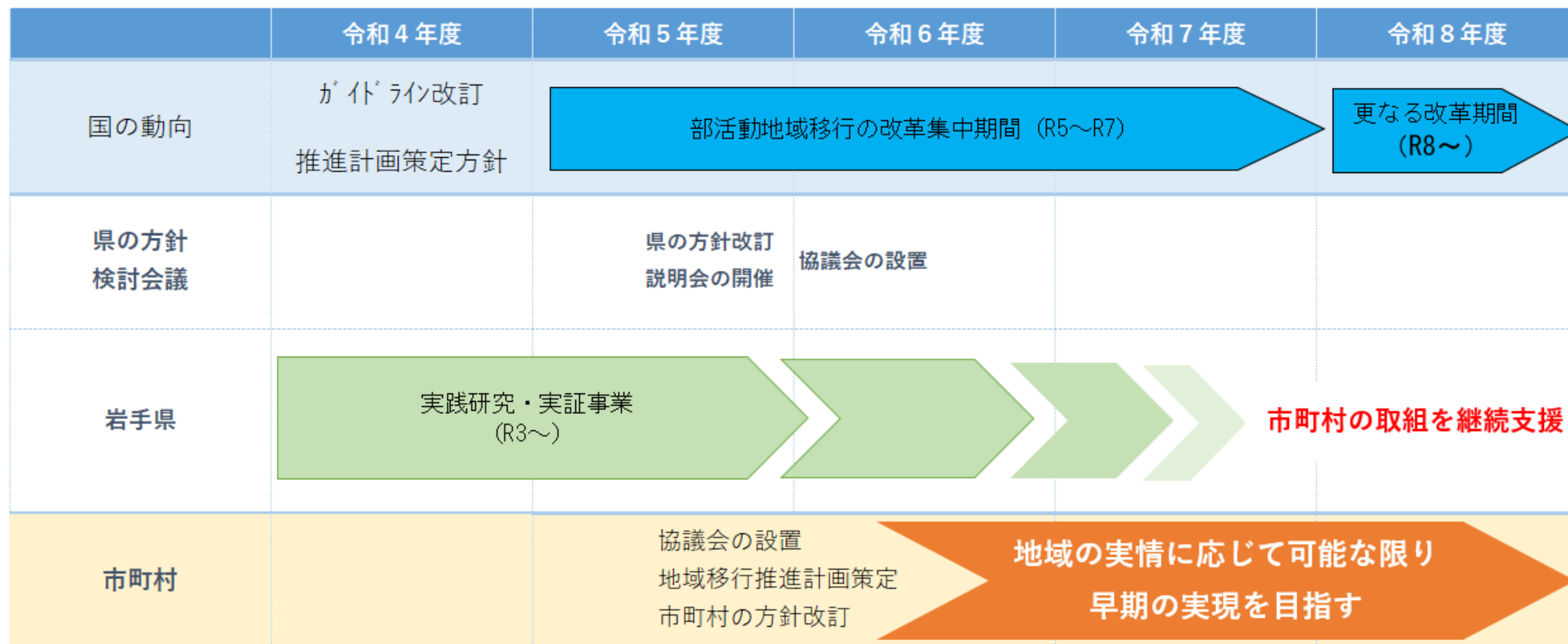
岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針（概要版）



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

岩手県 部活動改革スケジュール（案）



【岩手盛岡市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	岩手県盛岡市
担当課名	交流推進部スポーツ推進課
電話番号	019-603-8013

1. 自治体の基本情報

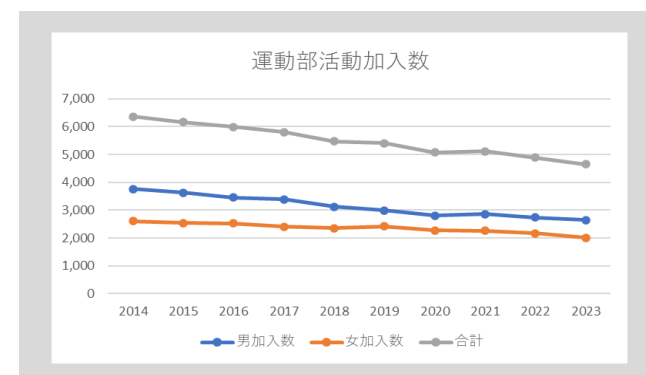
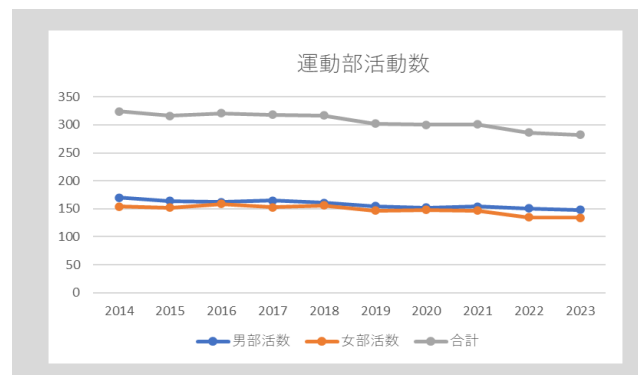
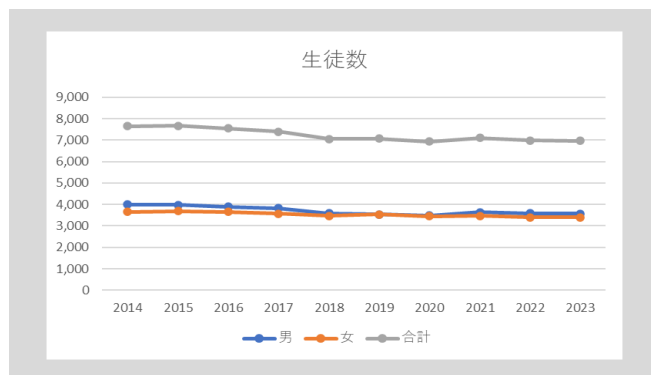
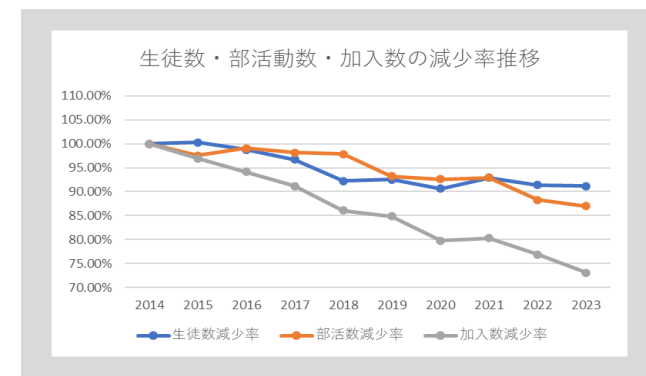
基本情報

人口	280,851人	部活動数	172部活
公立中学校数	23校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
公立中学校生徒数	6,973人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

盛岡市においては、中学校の生徒数が微減の傾向が続き、運動部活動数も生徒数と同様に微減の傾向となっております。部活動の加入率については、様々な要因により大幅に減少しています。子どもたちにスポーツ活動の場を持続して提供する必要があります。

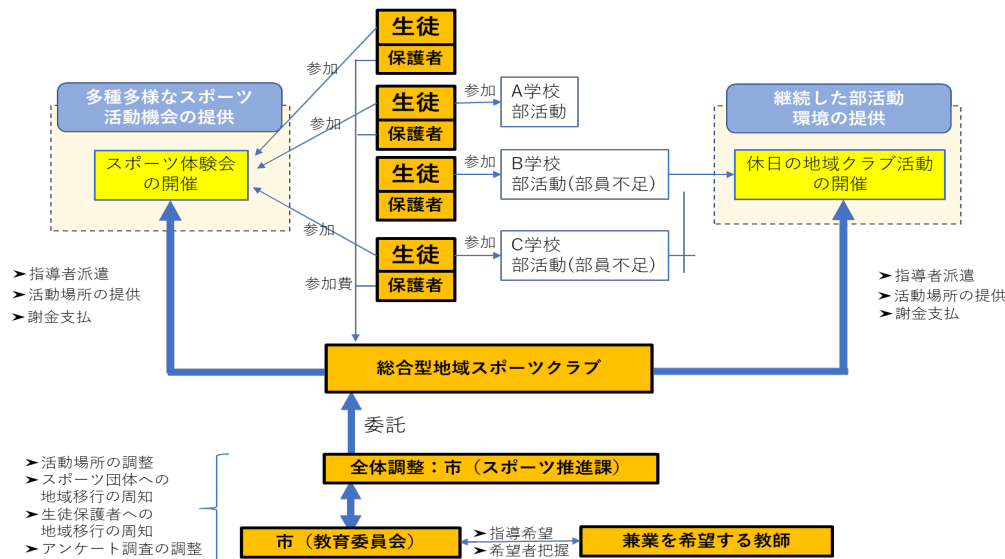
また、部活動に所属していない子どもも含め、子どもたちが多種多様な運動に親しむことができる環境の充実に向けて、運営主体のあり方や地域社会との役割分担、指導者・活動場所の確保等を、学校、保護者、総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会、競技協会などの関係団体等と協力・協働して取り組む必要があります。



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（盛岡市における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- 教育委員会（学校教育課）
地域クラブ活動の実施校の調整

- 首長部局（スポーツ推進課）
スポーツ関係団体との調整、生徒・保護者への周知

年間の事業スケジュール

- 7月 スポーツ団体への意向調査、スポーツ団体への説明
- 8・9月 指導者の調整
- 10月 検討会議の開催（関係者間の顔合わせ、方針の確認）
実施校の決定と実施準備
- 11月 中学校長説明会の開催、地域指導者と実施校による指導方法の調整
- 12月 生徒・保護者へ地域クラブ活動の周知、スポーツ体験会の種目の協議
- 1月 生徒・保護者へスポーツ体験会の周知
実施事業②スポーツ体験会の開催
実施校・保護者等へのアンケート調査実施、指導者への聞き取り調査
- 2月 検討会議の開催（成果報告、来年度に向けた検討課題）

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

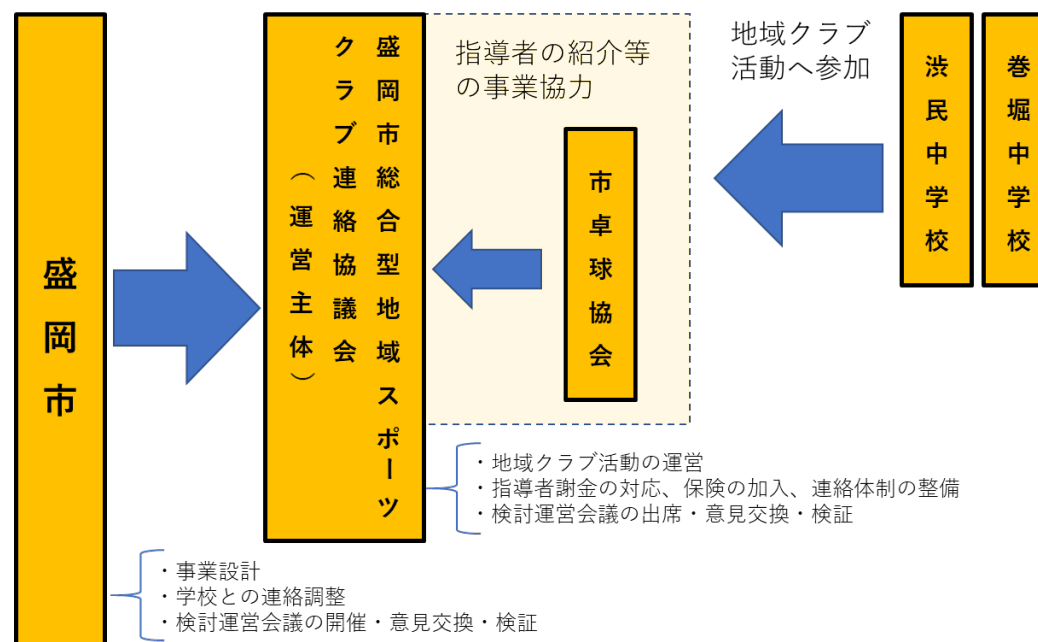
拠点校数	3校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	ハンドボール、軟式野球、卓球、ボルダリング、ダンス
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	3部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	渋民中学校、巻堀中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1部活
地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営主体名	盛岡市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
運営類型	地域スポーツ団体等運営型 (総合型地域スポーツクラブ運営型)
1か月あたりの平均的な活動回数	月2回程度
指導者の主な属性	競技協会指導者
活動場所	渋民運動公園総合体育館
主な移動手段	徒歩及び保護者による送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	400円
1人あたりの保険料	行事参加者の傷害危険担保契約 生徒1人あたり：400円/年 スポーツ安全保険 指導者1人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

地域連携・地域クラブ活動の実現に向け、実証事業の検討・運営会議を設置し、実施校、市PTA联合会、市中学校体育連盟、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブなどの関係者から意見聴取し、調整を行いながら、実証事業の方針を決定した。

また、実証事業の実施にあたっては、市中学校長会を通して全中学校長に対する説明会を開催し、意見聴取した内容を踏まえて、詳細な実施内容を決定した。

取組の成果

実証事業の検討・運営会議で、生徒、保護者、教員において地域連携・地域クラブ活動に対する理解が十分でないことから、誤解を招きやすい状況であり、明確なビジョンがないまま、実証事業を実施することは、現在、部活動をしている生徒、その保護者に直ぐに部活動がなくなるのではないかという不安を与えることの問題が分かった。



特に工夫した事項

部活動をしている生徒、その保護者に直ぐに部活動がなくなるという誤解を与えないよう、実証事業の活動は、休日の地域クラブ活動の「体験会」という表現で実施し、新たにスポーツ活動の機会が提供されることを強調した。



今後の課題と対応方針

生徒、保護者、教員において地域連携・地域クラブ活動に対する理解が十分でないことから、誤解を招きやすい状況であるため、言葉を選んで慎重に実証事業を行いつつ、地域連携・地域クラブ活動の内容を説明する機会を増やし、部活動と比較したメリットとデメリットの理解を深める。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

運営主体の総合型地域スポーツクラブの指導者を確保しつつ、岩手県の広域スポーツセンターのスポーツリーダーバンクを活用し、競技協会などと連携して適切な指導者を確保する。

取組の成果

運営主体の総合型地域スポーツクラブが指導者を確保するために、岩手県広域スポーツセンターのスポーツリーダーバンクから候補者を選定し、競技協会へ相談のうえ、実施内容に適切な指導者を確保した。



特に工夫した事項

スポーツリーダーバンクの登録者情報だけでは分からない情報を競技協会との連携により補った。

今後の課題と対応方針

競技協会においても指導者情報がない場合もあるため、スポーツ協会やスポーツ少年団等の関係団体との連携もできる仕組づくりの検討を進める。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

- ・3年生の引退で、部員数が少なくなる時期に十分な活動ができるよう、地域クラブ活動の場を提供し、部活動の種目の競技を継続させた。
- ・子どもたちに様々なスポーツの体験機会を提供することを目的に、多種多様なスポーツ体験会を開催した。
- ・多種多様なスポーツ体験会の種目に本市の特色を生かしたスポーツ施設を活用した種目を選んだ。

取組の成果

- ・軟式野球と卓球で部員数が少なかったり、競技経験の指導者がいない中学校が地域クラブ活動に合同で参加し、今後も合同で練習等をするようになった。
- ・多種多様なスポーツ体験会の種目として、各中学校が設置する運動部にないボルダリングとダンスを採用し、子どもたちに貴重な体験となった。
- ・本市の特色であるボルダリング専用の施設を子どもたちが使用する機会となった。



特に工夫した事項

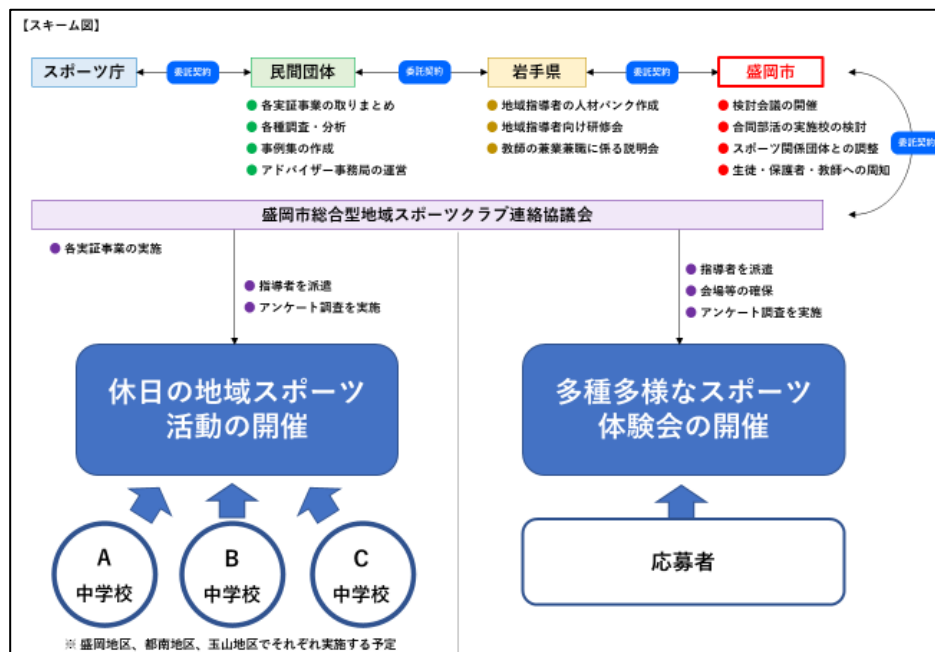
- ・種目の選定については、学校から継続が難しくなる部活動を聞き取り、希望も踏まえて地域クラブ活動の種目を選定した。
- ・多種多様なスポーツ体験会の種目を実施主体である総合型地域スポーツクラブと市中学校体育連盟の競技種目がない種目で子どもたちが興味を持ち、質の高い指導が受けれる種目にした。

今後の課題と対応方針

運営主体の総合型地域スポーツクラブに所属し、指導実績が多い地域指導者を優先に確保したが、実証事業を拡大するためには指導者情報と指導者の担い手が不足している。岩手県の広域スポーツセンターのスポーツリーダーバンクなどの人材バンクへの登録を各競技協会を促すとともに、指導者情報を市スポーツ協会や各競技協会と連携して収集することを検討している。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



【対象校説明図】

令和5年度 盛岡市地域スポーツ活動体制整備事業

盛岡市多種多様なスポーツ体験会

対象：全盛岡市立中学校の1年生～2年生

参加費 200円
（スポーツ保険・会場代）

HIP HOP DANCE 体験会

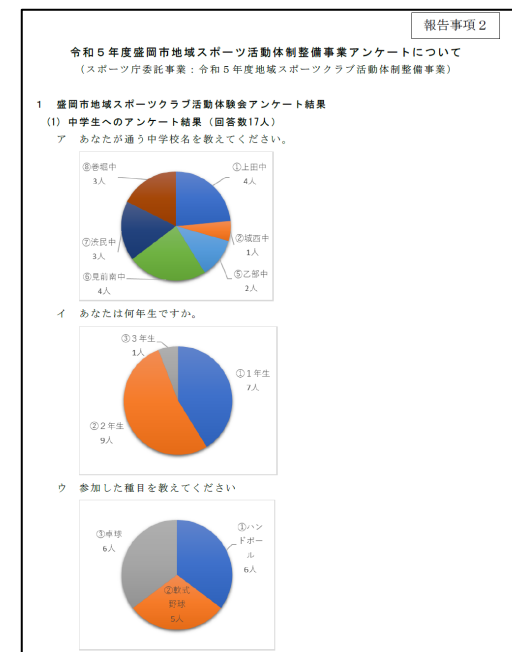
基礎の動きやステップからしっかり練習できるので、ダンスが初めてでも大丈夫！
音楽に合わせて一緒に楽しく身体を動かしましょう！

【講師】 nonegon（白坂 奈々）
【経歴】 盛岡市内でダンスインストラクターとして活動する他、県内外のイベントに多数出演。自身でもダンスイベント「Shake Up!!」を編成。2014年からインストラクターとして活動を開始し、2020年に「Shake Up!!-dance school-」を設立。

【場 所】 プラザおでって 4F リハーサル室 【定 員】 15名
【日 時】 令和6年1月28日（日）9:30～11:30
【持ち物】 屋内シューズ、タオル、飲み物、参加費
※ 交通事情や天候により開催日時等が変更する場合があります。あらかじめご確認ください。

【申込先・申込方法】
主 催：盛岡市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
事務局：盛岡市交流推進部スポーツ推進課
電 話：019-603-8013（8:30～17:15（土日祝、年末年始を除く））
申込方法：右記QRコードから申込。変更等は事務局へ電話。
QRコードから申込できない方は裏面の申込書をFAX等で提出。
※ 申込多数の場合は抽選となります。

【多種多様なスポーツ体験会チラシ】



【アンケート結果報告書】

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【ハンドボール】



【軟式野球】



【卓 球】



【ボルダリング】



【ヒップホップダンス】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



※1

- ステークホルダー
総合型地域スポーツクラブ
- 経過
実証事業等の開始に向けて、総合型地域スポーツクラブが指導者等の受け皿としての準備事業を市と協働で実施した。
- 実施にあたって生じた課題
 - ・市スポーツ施設を土日の活動場所として利用することは他の団体の利用希望が多いことから、確保しづらい。
 - ・指導者の確保
 - ・学校との効率的な調整方法
- 実施内容、工夫した点 等
指導者が少ないハンドボールの3校合同部活動を行うこととし、指導者を募集し、指導者派遣を行った。

※2

- ステークホルダー
総合型地域スポーツクラブ
- 経過
実施方針案の説明及び調整
- 実施にあたって生じた課題
 - ・地域にいる指導者の情報収集
 - ・確保できる指導者から実施種目の選定方法
 - ・活動場所の確保
 - ・学校との調整
- 実施内容、工夫した点 等
総合型地域スポーツクラブと課題等を共有し、実施方針の調整を図った。

※3

- ステークホルダー
学校（対象中学校）
市中学校体育連盟
市PTA連合会
市スポーツ協会
総合型地域スポーツクラブ
- 経過
実施方針の説明及び調整
- 実施にあたって生じた課題
実証事業の説明が十分でなかったことから、市の部活動の将来像を示さないまま、実証事業を実施することに理解が得られ難いこと。
- 実施内容、工夫した点 等
学校とスポーツ関係団体等と情報を共有し、実施方針の調整を行った。生徒や保護者に配慮した方法で実施することで合意した。

※4

- ステークホルダー
生徒
保護者
学校（全中学校）
- 経過
事業内容の説明を案内チラシ行い、内容については全学校長に確認した。
- 実施にあたって生じた課題
生徒や保護者の地域連携・地域クラブ活動への理解が不十分である。
- 実施内容、工夫した点 等
学校と説明内容を調整し、生徒や保護者に向けては、地域クラブ活動の体験会として開催することにした。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

盛岡市・盛岡市教育委員会 休日の運動部活動の地域移行に向けたスケジュール（案）

	2022年度（R4）	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）
盛岡市			協議会の設立	協議会の開催	
盛岡市 （スポーツ推進課）	令和7年度までにスポーツ関係団体と地域指導者の情報共有及び人材バンク登録の仕組づくり 実証事業等に向けた中学校の運動の場創出事業（モデル事業）	実証事業（対象8校：ハンドボール・軟式野球・卓球）	実証事業の拡大（対象校と種目）	R8以降の事業検討	地域クラブ活動への移行事業 実証事業の継続・拡大
盛岡市 教育委員会 （学校教育課）	平日の運動部活動は現状どおり継続し、休日の運動部活動を段階的に見直す	平日の運動部活動の支援	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方の方針の策定	方針に基づいた学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行の推進	

【岩手県宮古市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	岩手県宮古市
担当課名	宮古市教育委員会事務局 生涯学習課
電話番号	0193-68-9120

1. 自治体の基本情報

基本情報

人 口（令和6年1月1日現在）	46,866人	部活動数	79 部活
公立中学校数 （令和5年5月1日現在）	11校	宮古市の検討委員会の設置状況	「宮古市部活動地域移行検討委員会」 令和5年6月1日設置
公立中学校生徒数 （令和5年5月1日現在）	1,004人	宮古市の推進計画・ガイドラインの等の策定状況	—

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

岩手県の沿岸部のほぼ中央、本州では最東端に位置しています。東に太平洋を望み、西は北上山地を仰ぎ、市の西側は県都盛岡市と隣接し、南側は花巻市、遠野市、山田町に、北側は、岩泉町に接しています。総面積は1,259.15平方kmで岩手県の総面積8.2%を占めています。

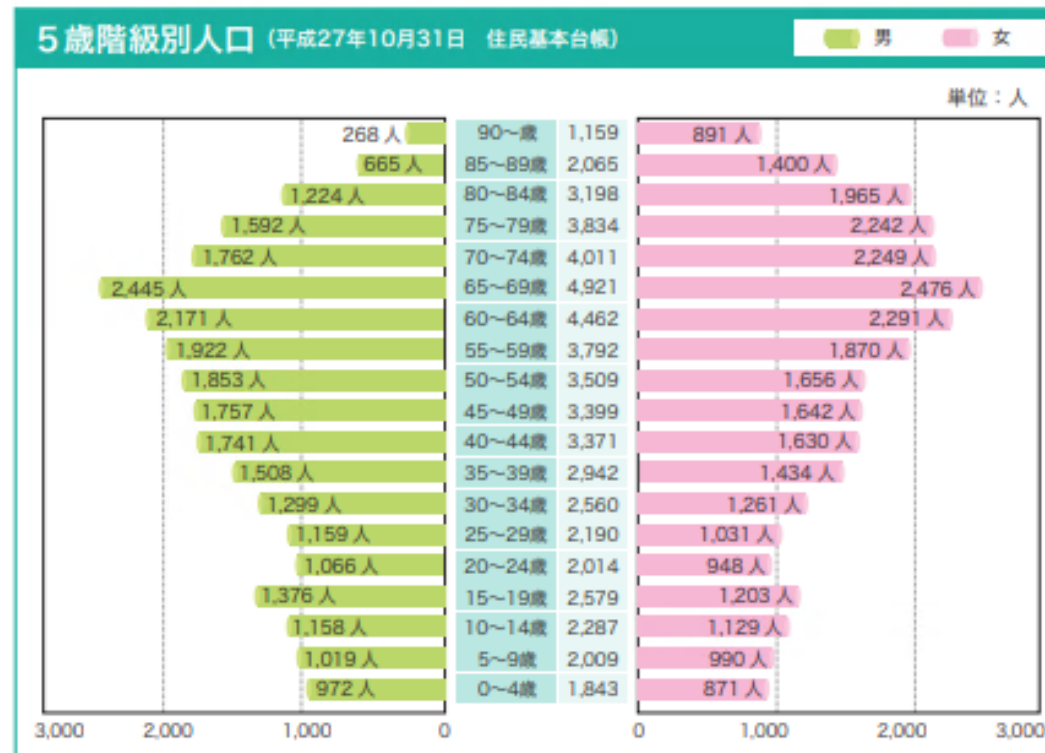
都道県内で、北海道に次ぐ広大な面積を有する岩手県の中で、宮古市は市町村の中で市域（面積）が一番広い市となります。

また、市域が広いことから、山間部、沿岸部、中山間部の小規模校から市街地付近の比較的生徒が多い中学校まで様々です。

生徒の競技に対するニーズも多様となっている現状から、生徒、保護者、学校等（教員）、スポーツ関係団体等の実態の把握が今後の方向性に必要不可欠となります。

今後、少子化がますます進行することが予想されます。団体スポーツ等は、広い市域の各地区から拠点施設に集まっての活動が主体となることを予想されます。この際に移動手段、移動に係る経費負担や活動経費の負担が大きな課題となります。

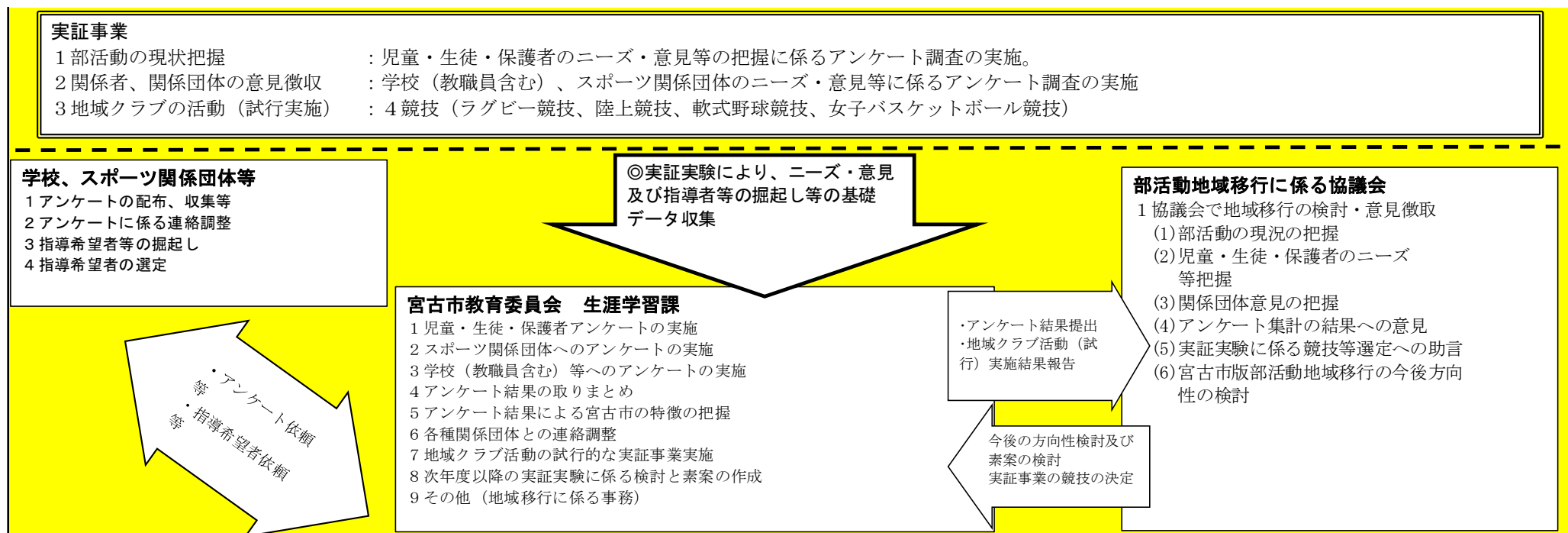
また、指導者の確保、指導者の資質の向上、地域スポーツクラブの受け皿となる体制整備も大きな課題となります。



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

年間の事業スケジュール

○教育委員会事務局

現状把握（アンケート調査、試行的な実証事業の実施）、検討委員会の運営

○首長部局

試行的な実証事業実施に係る施設利用への協力。教育委員会事務局等との連携

2. 実証内容と成果

年間の事業スケジュール

時 期	内 容
6 月 1 日	「宮古市部活動地域移行検討委員会」設置
1 0 月 6 日	宮古市補正（ 9 月定例会議 ） 予算議決
9 月 1 9 日	第 1 回宮古市部活動地域移行検討委員会」開催
1 0 月 ～ 1 2 月	地域クラブ活動実施団体調整・アンケート素案検討
1 月 ～ 2 月	地域クラブ活動（実証事業）実施、アンケート実施
2 月 1 5 日（予定）	「第 2 回宮古市部活動地域移行検討委員会」開催

実証事業の概要

【アンケートの実施】

- 対象：市内の中学生・小学生（4年生～6年生）及び保護者、中学校教員、スポーツ関係団体（競技団体）
方法：小学生・中学生及び保護者タブレットにより回答、中学校教員、スポーツ関係団体はロゴフォームにより回答

【地域スポーツクラブ活動の試行的な実施】

- 対象：市市内中学生（1年生～2年生）※総数：11校 1004名
競技：ラグビーフットボール競技（参加者9名）、陸上競技（参加者3名）、軟式野球競技（参加者15名）、女子バスケットボール競技（参加者15名）
拠点：市民総合体育館（ラグビー）、宮古運動公園陸上競技場（陸上）
グリーンピア三陸みやこ多目的アリーナ（軟式野球）、第一中学校体育館（女子バスケットボール）

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

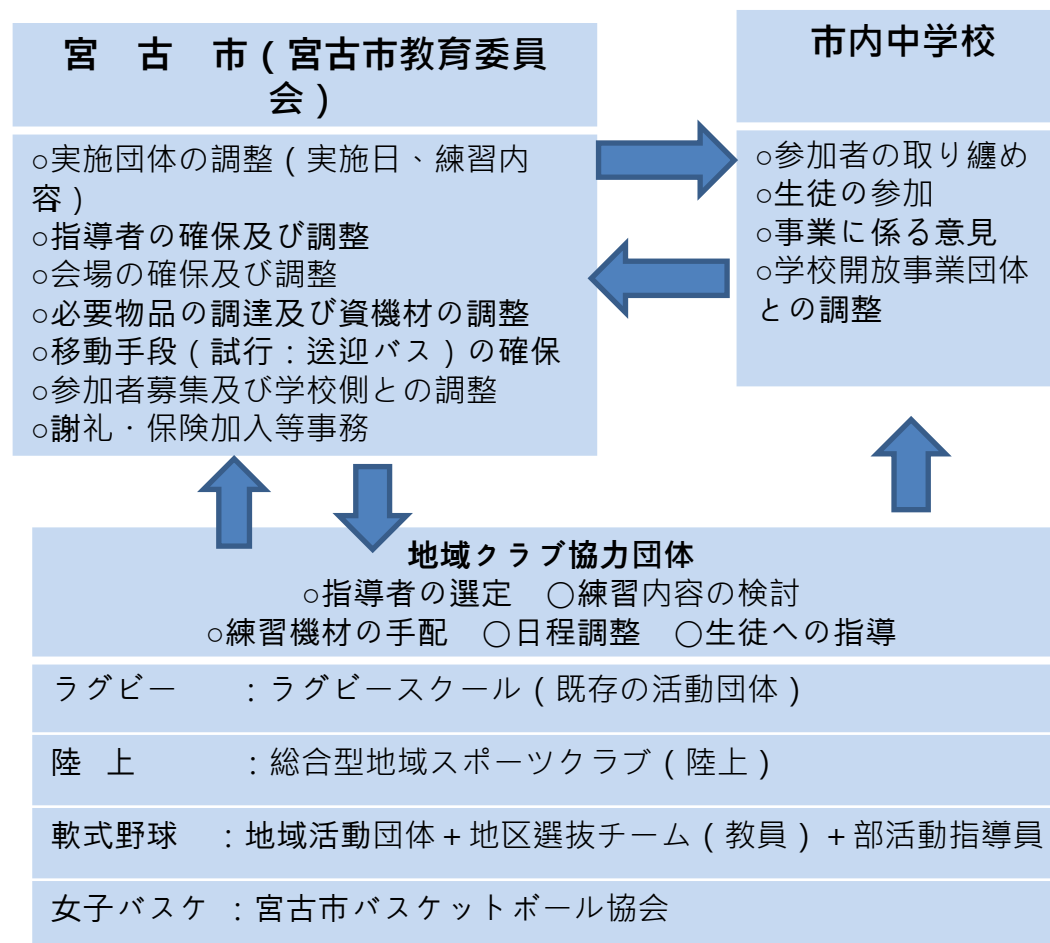
拠点校数	1校、3施設	地域クラブ活動に取り組んだ種目	ラグビーフットボール競技、陸上競技、軟式野球競技、女子バスケットボール競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	2部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	社会体育施設、民間体育施設、学校体育館
地域クラブ活動に移行した部活動数	2部活
地域クラブ活動で実施した種目	ラグビーフットボール（R6.1.27(土)） 陸上競技（R6.1.28(日)） 軟式野球、女子バスケットボール（R6.2.4）
運営主体名	宮古市
運営類型	市町村運営型（地域団体・人材活用型）
1か月あたりの平均的な活動回数	ラグビー：1回、陸上競技：1回 野球：1回、女子バスケ：1回
指導者の主な属性	地域活動団体（ラグビーフットボール） 総合型地域スポーツクラブ（陸上競技） 地域団体＋選抜チーム指導者（教員）（軟式野球） 競技団体（女子バスケットボール）
活動場所	宮古市民総合体育館（ラグビー） 宮古運動公園陸上競技場（陸上競技） グリーンピア三陸多目的アリーナ（軟式野球） 第一中学校体育館（女子バスケットボール）
主な移動手段	貸切送迎バス、保護者による送迎、 徒歩・自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	ラグビーフットボール：0円、陸上競技：0円 軟式野球：0円、女子バスケットボール：0円
1人あたりの保険料	民間保険会社（AIG損害保険（株）） ラグビー競技：1人あたり：216円/日 陸上、野球、バスケ：1人あたり：108円/日

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

中学校休日の部活動の地域移行に向けた関係者の検討委員会として「宮古市部活動地域移行検討委員会」を設置した。

取組の成果

「宮古市部活動地域移行検討委員会」要綱を令和5年6月1日から施行

委員は10人で、教育長、学校教育関係者、体育スポーツ団体関係者、文化・芸術団体の関係者、社会教育団体の関係者で組織している。

第1回の会議においては、宮古市の部活動の現状を把握するとともに、今後のスケジュール及び試験的な地域スポーツクラブの実証事業における実施競技について協議を行った。

また、第2回においては、地域スポーツクラブの実証事業の結果を報告するとともに、課題と成果を共有し今後の方向性の意見交換を行った。

特に工夫した事項

委員は、学校教育関係者として、宮古地区中学校体育連盟会長、小学校体育連盟会長、中学校文化連盟会長を充てた。また、スポーツ関係団体として、体育協会専務理事、スポーツ少年団本部長を充て、保護者の代表として宮古市PTA連合会長に委嘱した。

なお、文化部に係る委員として、芸術文化協会会長及び郷土芸能団体連絡協議会会長も名を連ねる。

また、オブザーバーとして、高等学校体育連盟宮古支部長と宮古地域の中核となる宮古高校の校長先生にも出席いただき、意見をいただく取組みを行った。

今後の課題と対応方針

児童、生徒、保護者においても様々な意見があることから、当検討委員会の今後の検討において、段階的に地域へ移行できる競技や生徒等への宮古市の支援の方向性を更に協議を進める必要がある。

2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保【ラグビーフットボール競技】

取組事項

○実施した4種目において、指導者の所属する団体のタイプを変え、今後の地域移行の検討の実証を行った。

【ラグビー：既存スクール指導者の活用】

既存のラグビースクール（宮古市ラグビー協会）の5名の指導者（ラグビースクール）で実施。

うち3名はJRFUのC級コーチ資格を有する者が指導。

取組の 成果

良かった点：ラグビー未経験者が参加しての練習会であった。未経験者への指導も丁寧であり参加者アンケートにおいても「楽しかった」「またやってみたい」との意見があり、指導者の資質面での充実を確認することができた。

課題点・今後実施事項：参加者が9名であった。参加者が多い場合の指導者が確保できるか、今後確認しておきたい。

特に 工夫した 事項

経験者と未経験者が参加できる練習会とした。

冬季の活動であるため、天候等に左右されないよう室内での練習会とした。

部活動の活動時間は、2時間実施とした。

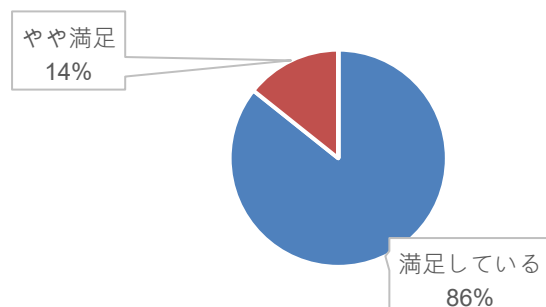
上記の環境の中で常に体を動かしながら、ラグビーの基本的な技術と楽しさを伝える指導を行ったこと。

※良いプレーに対して、指導者、参加生徒で賞賛する声があり、生徒の自信と楽しさに繋がっているように見受けられた。

今後の 課題と 対応方針

指導者から、あげられた課題として、休日部活動の地域移行の現在検討が行われているが、平日もラグビースクールは活動しており、拠点施設の活動を行う際に市内でも遠方の中学校からの移動手段に課題がある。公共交通の活用等が対応として考えられる。

活動に対する満足度



2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保【陸上競技】

取組事項

○実施した4種目において、指導者の所属する団体のタイプを変え今後の地域移行の検討の実証を行った。
【陸上競技：シーアリーナスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）指導者の活用】
総合型地域スポーツクラブ（シーアリーナスポーツクラブ）の2名の指導者で実施。
2名ともにトレーニング指導士の資格を有する者が指導。※うち一人は、通年で陸上競技指導を教室で実施している。

取組の成果

良かった点：参加者は、陸上競技経験者（特設陸上部）であり、専門が長距離、投てき競技、跳躍競技（高跳び）であった。いずれの競技にも共通する「走り方」について股関節の使い方や地面に力を伝えるフォームなどの指導を受けた。ポイントを分かりやすく指導しており、練習会終盤の参加者のフォームには力強さが加わり短い時間ではあったが成果が見られた。
課題点・今後実施事項：今回は競技の基本の指導であったが、各種目の専門的な指導においては陸上競技協会の協力も不可欠である。

特に工夫した事項

宮古運動公園陸上競技場を拠点とした練習会であり、冬季の本陸上競技場は、県内外の陸上競技部が合宿や練習に多く訪れている。練習会当日も、盛岡第三高等学校や秋田県の陸上競技の強豪校である秋田令和高等学校も練習を行っていた。
練習会においては、指導者の繋がりから、強豪校の練習を間近に見られた。上位レベル高校生の練習している姿をお手本や参考として、参加者の指導に活かすことができた。

今後の課題と対応方針

今回の実証事業は、短距離走を中心に開催した。参加者が3名と少なく、陸上競技の各種目の指導ができれば、参加者の増につながると思われる。ついては、今後は陸上競技協会との連携による指導も必要である。

活動に対する満足度



2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保【軟式野球競技】

取組事項

○実施した4種目において、指導者の所属する団体のタイプを変え今後の地域移行の検討の実証を行った。
【軟式野球競技：地域スポーツ活動団体、部活動指導員、中学校の宮古地区選抜チーム指導者（教員）が連携した指導】
指導者7名 内訳：地域スポーツ活動団体（3名）、部活動指導員（1名）、選抜チーム指導者（教員3名）

取組の成果

良かった点：複数の立場の指導者が連携して、練習会に取組む実験的な取組ができた。今回の練習会の事前の打合せにおいて、教員の指導者の指導力が高いとの意見もあり、部活動指導員、地域活動団体が教員の指導をサポートする形態での練習会となった。予め、メニューや目的を共有しての練習であり、アンケート結果から充実した練習内容であったことが伺えた。

課題点・今後実施事項：野球は、比較的指導できる団体・個人が多いが、指導者受け皿となる団体と指導者間の指導方針の共有が必要である。

特に工夫した事項

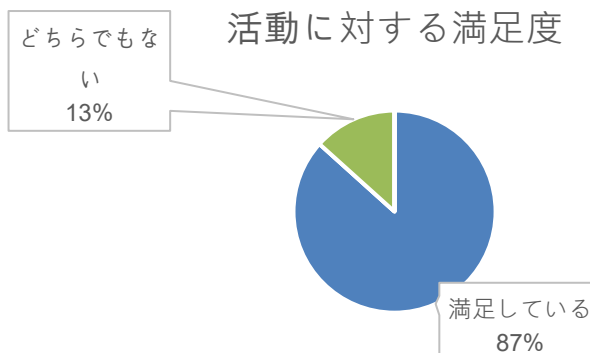
指導者が所属する団体が、複数あるケースでの実証事業として開催した。地域スポーツ活動団体、部活動指導員、教員が連携した活動となるため、事前の打合せ等を行い練習の目的、メニュー、役割分担など方向性の共有ができるよう実施できた。

また、冬季で市の野球場が閉鎖されている時期であったが、各球場にあるネット等を活用し、広い屋内運動施設で練習を行うことができた。

今後の課題と対応方針

軟式野球競技は、現在合同チームでのチーム編成となっている。
参加した保護者から、「今回の練習会は冬季の練習であるため影響はないが、シーズン中の合同練習は中総体などで勝敗に影響があるのでは」との意見があった。
様々な考え方があることから、今後、部活動の目的や競技団体等での方向性の協議が必要である。

活動に対する満足度



2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保【女子バスケットボール競技】

取組事項

○実施した4種目において、指導者の所属する団体のタイプを変え今後の地域移行の検討の実証を行った。
【女子バスケットボール競技：宮古市バスケットボール協会】
指導者3名

取組の成果

良かった点：参加者の申込時点において、経験者、未経験者の区分で申込受付を行った。参加者はすべて経験者であったが、練習会の実施において、小学生から始めた生徒と中学生になってから始めた生徒があった。そのため、生徒に基本練習希望者と実践練習希望者を募り班分けしての練習を行った。指導においても後半はゲーム形式であったが、それぞれのレベルでの上達に対して、声かけをする指導が行われ、それぞれの生徒が成功体験を得られたように見受けられた。

課題点・今後実施事項：バスケットボール競技は男子、女子があり、指導者も多いことから、今後の地域移行においては、各指導者及び競技団体の調整を十分にする必要がある。

特に工夫した事項

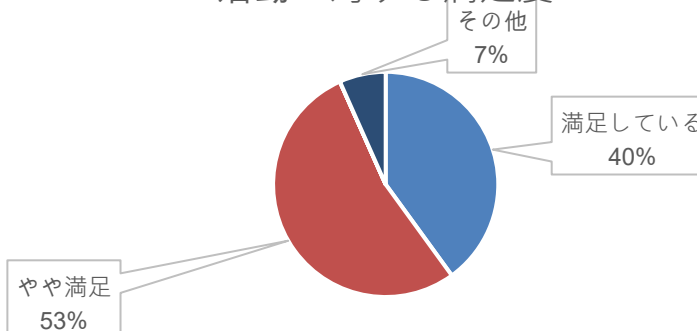
競技の経験年数の違いから技術のレベルに違いがあったが、基本的な技術練習を行う班と実践的な練習を行う班に分けてレベルに合わせた指導を行う手法で練習会を実施した。

生徒のレベルに応じて練習した成果が見られた際には、褒めるなどの声かけを行い、それぞれの成長に寄り添う指導を行った。

今後の課題と対応方針

バスケットボールは、男女を合わせると、部活動として活動しているチーム数は、他の競技よりも比較的多い。今後、地域移行において、まとまった活動を行う場合にはそれぞれの団体の指導者や競技団体と方向性を協議し地域移行への検討を行う必要がある。

活動に対する満足度



2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 「宮古市部活動地域移行検討委員会」により、実証事業での実施結果等を踏まえ、今後の地域移行の検討を行った。
- 本実証事業において、地域移行に関係する団体と練習会を開催し、今後の地域移行に向け連携し課題等の掘起しを行った。

取組の成果

- 「宮古市部活動地域移行検討委員会」により、実証事業での実施結果等を踏まえ、今後の地域移行の検討を行う。
- 本実証事業において、地域移行に係る団体と練習会を開催し、今後の地域移行に向け連携し課題等の掘起しを行うことができた。
- 本実証事業において4種目の練習会を実施した。各地域スポーツクラブの指導者を出していただいた団体や指導者と連携し運営における成果と課題の共有ができた。

特に工夫した事項

- 軟式野球競技において、地域スポーツ活動団体、部活動指導委員、教員の複数の立場から指導者が集まり練習会を開催した。それぞれの役割等を分担し指導を行うことから事前打合せを行い充実した練習会となった。

今後の課題と対応方針

- 地域移行の指導者は、各団体ともに人材は十分なポテンシャルである。しかし、地域移行を行ううえでの受け皿（事務局の役割を）担う場合にそれぞれの競技団体、地域活動団体ともに、本業の傍らで実施することは難しいとの意見がある。また、教員の方々も各競技に携わりたい方はいるが、転勤がある。地域部活動の指導者としての協力は可能であるが、主体となった取組みは難しい。

対応の素案

○地域スポーツクラブの受け皿となる組織は、生業として実施できる体育協会が候補としてあげられる。

【理由】

- ・競技団体との連携や指導者講習会の開催をすでに実施しており、指導者の育成や斡旋の窓口として機能的である。
- ・市が地域移行を支援する場合においても、体育協会への委託や補助金等の手法がすでに存在している。

2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：Ⅰ：面的・広域的な取り組み

取組事項

- 市内中学生、小学生（4年生～6年生）、教員・競技団体等へのアンケートの実施。
- 地域スポーツ活動の実証事業において、試行的な取組みとして送迎バスの運行し拠点での活動場所へ送迎し、移動手段を確保することで、市内各所からの参加を促す支援として有効か試行的に取組んだ。

取組の成果

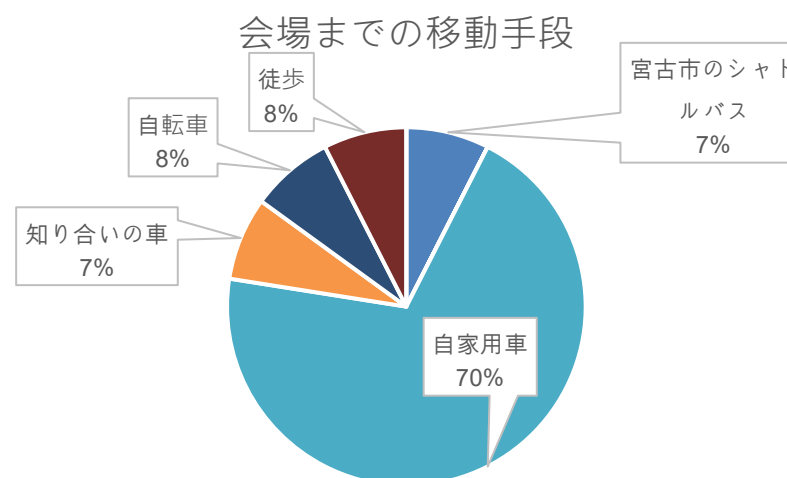
- 市内の中学生、小学生等にアンケートを行い市域の広い宮古市内の意見徴取を行い状況の把握を行う。
- 地域スポーツ活動の実証事業において、練習会への参加者に送迎バスを運行した。申込時点で移動手段について記載欄を設けて実施したが、利用者は全体で3名と少ない利用であった。なお、送迎バスは、申込みの多寡に関わらず、未申込者の参加や急遽移動手段が変更となった場合を想定し予定どおりに運行した。※未申込者の参加は全体で2名（移動手段は自転車）。移動手段の変更は全体1名（送迎バス利用）
- 移動手段は、保護者送迎（知り合いの自動車）や徒歩・自転車の利用が多かった。

特に工夫した事項

- 市域が広大な宮古市での拠点での地域スポーツクラブ活動を行う際に、公共交通機関の路線バス、鉄道の乗り継ぎを想定し、午後2時から練習開始とした。
- 同一日での開催競技の送迎バスは、乗り合わせでの運行を実施した。

今後の課題と対応方針

- 参加者の大半が、保護者の送迎での参加であり、送迎バスの利用が少なかった。バスの借上げ料も高額であることから、移動の経費の支援を考えると公共交通の利用促進の課題と合わせ、必要区間について経費を支援するなどの手法を検討した。



2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

- ラグビー：地域で自主的に活動している団体（ラグビースクール）の指導者の活用
- 陸上競技：総合型地域スポーツクラブで活動している指導者の活用
- 軟式野球：地域活動団体、部活動指導員、教員との連携による指導
- 女子バスケットボール：宮古市バスケットボール協会の指導者の活用

取組の成果

- 【ラグビー】未経験者への丁寧な指導
- 【陸上競技】競技の基本となる走り方の動きづくり指導。
- 【軟式野球】導入部のアップにおいて、アイスブレイクと身体調整力及びリズムの向上を意識した練習
- 【女子バスケ】経験が少ない生徒へ配慮した練習方法と声かけの実施。実践的なメニューを行うため班レベルに応じた班分けでの練習。

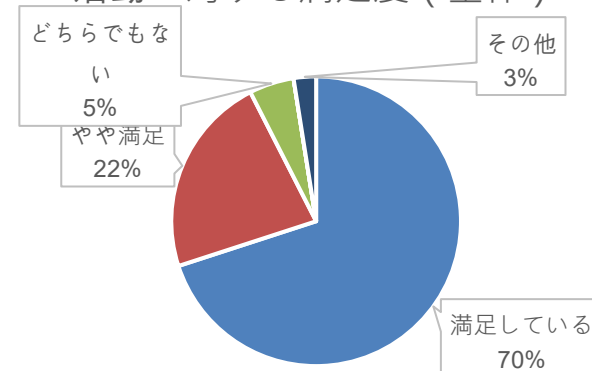
特に工夫した事項

- 【軟式野球】冬季間使用をしていない野球場からバッティング練習用のネットや防球ネット等を活用した練習の実施
- 【陸上競技】運動公園敷地の地形を活用した練習の採用
- 陸上競技場内以外の場所で坂道トレーニングを実施

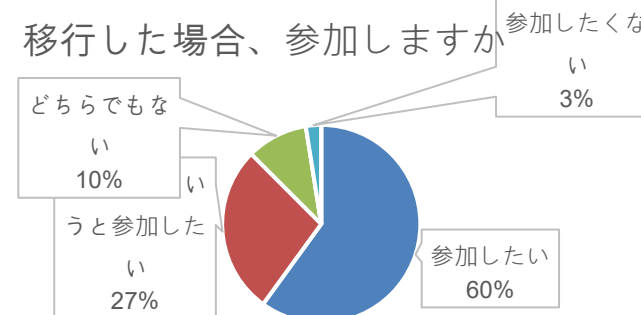
今後の課題と対応方針

- 【陸上競技】種目別の指導においては、競技団体と連携した専門的な指導者の派遣。
- 【全体】地域移行の過渡期における学校部活動と休日地域部活動の住み分け。（中総体時期は大会に向けて部活動中心となる。）夏休み、冬休みは地域活動をメインとするなど。

活動に対する満足度（全体）



休日の部活動が地域クラブ活動に移行した場合、参加しますか



2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：力：参加費用負担の支援等

取組事項

- 練習会の移動手段として3台の送迎バスを運行した。（北方面、南方面、西方面）
- 地域移行に向けて、経費の内容を確認する目的から、指導者への謝礼、保険料、会場使用料について事業主体である宮古市が負担した。
- 生徒、保護者の負担に関する意見を聞き取るためアンケート調査を実施し、負担の考え方を把握。

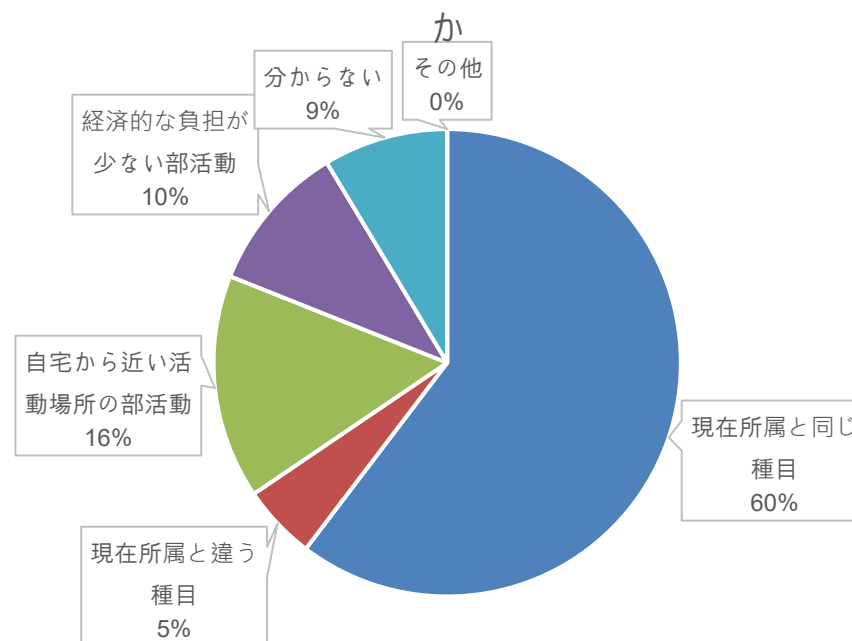
取組の成果

- 送迎バスを運行したが、利用者は、全体の7%のみの利用に止まった。
- 保険料は、1日開催であることから、民間の傷害保険をかけて開催した。回数が少ない場合は、民間の傷害保険の掛け金が割安であった。年間を通じて複数回の開催の場合は、スポーツ安全保険を活用すれば割安となる。
- 実証事業のアンケートでは、地域部活動に参加する際に費用負担が少ないことを求める声があった。

特に工夫した事項

- 地域スポーツ活動の練習会実施日が同一日である場合は、送迎バスの運行行程を効率化した。
※2月4日は軟式野球、女子バスケットであったため北方面、南方面、西方面から、各会場を経由した運行を実施した。
- バスの運行にあたって、申込みの際に移動方法を確認した。しかし、急遽利用する場合を想定し、申込みの有無に関わらず、すべて運行した。

参加する種目を選ぶとき、何を大事に考えますか



今後の課題と対応方針

- 送迎バスを運行したが、ほとんどの利用者が保護者送迎であった。しかし、潜在的に交通手段が確保できず部活動に参加できない場合も想定されることから、移動手段への支援は必要である。
- 貸切送迎バスでの移動の支援は、広い市域をカバーするには、費用対効果が良くない。
- 上記のことから、移動手段の支援は、公共交通機関の利用促進と併せ、「部活パス」的な取組も検討する必要がある。

2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項

- 学校施設：女子バスケットボール競技は、第一中学校の体育館を会場として活用。
- 社会体育施設：ラグビー競技は、宮古市民総合体育館、陸上競技は、宮古運動公園陸上競技場を会場として活用。
- 民間の体育施設：軟式野球競技は、グリーンピア三陸みやこ多目的アリーナを会場として活用。

取組の成果

- 学校施設を活用することで、施設利用料の負担が軽減された。
- 社会体育施設、民間の体育施設を活用することで学校施設ではできない練習や体験が可能であった。
 - ※陸上競技：県内外の高等学校の選手の練習している姿を自身の練習の参考とすることができた。
冬季、学校のグラウンドは使用しにくい状況であるが、陸上競技場を使用し思い切り練習できる。
陸上競技場以外にも運動公園付近の坂道等を活用した練習ができた。
 - ※軟式野球：テニスコート4面の広さがある室内練習場で、冬季間にノックなどのボールを使った練習ができた。

特に工夫した事項

- 軟式野球競技
民間の体育施設（グリーンピア三陸みやこ多目的アリーナ）は人工芝の屋内施設である。
施設管理者からティーバッティング等の練習の際に、同じ場所で同じ動作を繰り返す練習を行うと人工芝が古くなっていることから傷む恐れがあるとの申し出が有。ラバーマットを敷いて練習を行った。

今後の課題と対応方針

- これまでの学校部活動での活動と同様に、学校の体育館や校庭を活用する場合は、「学校施設開放事業」での利用を行うことで、施設利用料の縮減を行うことはできる。
- 社会体育施設、民間の体育施設を利用する場合は、使用料の負担があるが、練習を行ううえでメリットも多い。
 - ・充実した施設で練習ができる
 - ・他の団体との交流による技術の向上に向けた練習ができる。
- 今後は、学校施設と社会体育施設の双方を活用し、練習の場とすることで生徒の経験や活動の充実を図る必要がある。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

4 地域スポーツクラブ活動体制整備事業（実証事業）の実施について

本事業は、休日の部活動を段階的（令和5年度～7年度改革集中期間）に、地域への移行を推進するために、実証事業（試行）を行い運動部活動における地域連携、課題等の事例の掘起しを行うものである。

※各市町村への配分予算は150万円程度である。

年度	方向性	実証の目的
令和5年度 (初年度)	1. 学校の部活動の競技は無いが地域の受け皿として実施できそうな競技を試行として実施する。 2. 合同チームでの実施競技として、団体競技の中から試行として実施する。	1. 部活動の種目以外の多様な競技の実証を行う。 2. 合同練習等における課題の掘起し
令和6年度 (2年目)	1. アンケート（生徒、保護者、学校関係者、各競技団体等）の結果等から、実証事業の実施競技を選択 2. 課題解決に向けた取組み方策の実証	1. アンケート等結果から、新たな実証競技での試行 2. 課題解決方策の試行
令和7年度 (3年目)	1. 課題解決に向けた取組み方策の実証	

※岩手県から令和6年度の実証事業においても、希望調査を行う予定である旨の連絡が来ている。

5 令和5年度地域スポーツクラブの実証事業（試行）の候補競技について

候補競技選択のポイント	
部活動の地域移行の課題の中で、活動場所までの生徒の移動、活動費用の負担が課題の一部として挙げられる。予算・実施期間に制限があるため、初年度は、以下の競技において試行的に練習等を開催し実証を行う。 ○団体の合同チームの中から、まだ地域スポーツクラブとして活動していない団体競技を候補競技とする ○多様な種目（部活動実施競技にない競技）であり、受入れをできる団体が現在すでにある競技で試行的な実証を行う。	
区分	候補競技・受入れ団体
合同チーム (男子・女子)	軟式野球（MSクラブ（Kボール）等） 女子バスケットボール（バスケットボール協会等）
多様な種目	陸上競技（シーアリーナススポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）） ラグビー（ラグビースクール）

※令和6年度の実証事業：アンケート結果等を勘案し実証事業の候補競技選定予定

「令和5年度地域スポーツ活動体制整備事業委託 活用事業」

宮古市 部活動地域移行実証事業（試行版）

『冬の部活動を楽しもう！！』

現在、全国的に中学校の休日部活動の地域への移行が検討されています。

宮古市でも検討を始めており、このたび、国の委託事業である「地域スポーツ活動体制整備事業」を活用し、試行的に以下の競技において練習会を開催します。

日時 令和6年 1月27日(土)

【ラグビーフットボール】

1月28日(日)

【陸上競技】

申込期日：令和6年1月22日(月)まで

令和6年 2月 4日(日)

【軟式野球】【女子バスケットボール】

申込期日：令和6年1月25日(木)まで

※申込書の提出が必要となります。詳細は、別紙をご確認の上お申込みください

※未経験の方も参加できます。興味がある方は奮ってご参加ください。

主催/宮古市教育委員会

お問合せ先/宮古市教育委員会生涯学習課 TEL0193-68-9120

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

部活動地域移行実証事業に係る地域スポーツクラブ活動（試行）の開催

1 趣 旨

中学校の休日部活動の地域への移行が、全国的に検討されています。
現在、宮古市でも検討を進め始めたところです。令和5年度において、「地域スポーツクラブ活動実証事業（国の委託事業）」により、試行的に以下の競技を地域の方々と連携した練習会を開催します。
つきましては、下記のとおり練習会の参加者を募集しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。
なお、お申込みの際は、別紙申込書を記入し令和6年1月22日までに各中学校にご提出くださいますようお願いいたします。

2 【陸 上 競 技】

- (1) 指導者：シーアリーナスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）
(2) 対象者：市内中学生希望者（1年生～2年生）
(3) 活動の概要

期 日	時 間	場 所	内 容
1月28日 (日)	14:00 ～16:00	宮古運動公園 陸上競技場	陸上競技（短距離走）中心のメニュー (走り方教室)

3 【ラグビーフットボール】

- (1) 指導者：宮古市ラグビースクール
(2) 対象者：市内中学生希望者（1年生～2年生）
(3) 活動の概要

期 日	時 間	場 所	内 容
1月27日 (土)	14:00 ～16:00	宮古市民総合体育館 (多目的体育室)	ランニング等、ハンドリング（パス練習等）、 タグラグビー等 ※状況で変更する場合があります。

4 その他

- (1) 移動手段：保護者の送迎等、会場までの送迎バスを運行します。（下記：運行表参照）
(2) 服 装：ジャージ等動きやすい服装、防寒着、スニーカー（上履き）
(3) 持ち物：着替え、タオル、飲み物 その他：個人で必要と思われるもの

	発着	川井中	新里中	千徳駅	総合体育館	運動公園
西側	行き	12:30	12:55	13:15	13:30	13:50
	帰り	17:30	17:05	16:15	16:30	16:10

	発着	田巻一中	崎山中	二中	総合体育館	運動公園
北側	行き	12:30	12:55	13:15	13:30	13:50
	帰り	17:30	17:05	16:15	16:30	16:10

	発着	東茂雄協	運動公園	総合体育館
南側	行き	13:20	13:30	13:50
	帰り	16:40	16:30	16:10

※上記運行表は、陸上競技の運行表です。ラグビーの運行表は上記運行の「西側」「北側」の発着地点の「運動公園」部分を削除した運行となります。

【各学校への周知説明文：陸上、ラグビー】

部活動地域移行実証事業に係る地域スポーツクラブ活動（試行）の開催

1 趣 旨

中学校の休日部活動の地域への移行が、全国的に検討されています。
現在、宮古市でも検討を進め始めたところです。令和5年度において、「地域スポーツクラブ活動実証事業（国の委託事業）」により、試行的に以下の競技を地域の方々と連携した練習会を開催します。
つきましては、下記のとおり練習会の参加者を募集しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。
なお、お申込みは、別紙申込書を記入し令和6年1月25日までに各中学校にご提出くださいますようお願いいたします。

2 【軟 式 野 球】

- (1) 指導者：MSクラブ指導者、部活動指導員等
(2) 対象者：市内中学生希望者（1年生～2年生）
(3) 活動の概要

期 日	時 間	場 所	内 容
2月4日 (日)	14:00 ～16:00	グリーンピア三陸みやこ 多目的アリーナ	守備、走塁、打撃等グループごとで練習予定 ※状況で変更する場合があります。

服装・持ち物：練習着及びジャージ等、防寒着（手袋）、グローブ、上履き、着替え、タオル、飲み物

3 【女子バスケットボール】

- (1) 指導者：宮古市バスケットボール協会等
(2) 対象者：市内中学生希望者（1年生～2年生）
(3) 活動の概要

期 日	時 間	場 所	内 容
2月4日 (日)	14:00 ～16:00	第一中学校体育館	スキルトレーニング（オフェンス、ディフェンス）、 ゲーム形式 ※状況で変更する場合があります。

服装・持ち物：練習着及びジャージ等、防寒着、バスケットシューズ（上履き）、着替え、タオル、飲み物

※個人でボールを持っている方はご持参願います。

4 その他

- (1) 移動手段：保護者の送迎等、会場までの送迎バスを運行します。（下記：運行表参照）

	発着	川井中	新里中	千徳駅	市役所正面玄関前 (女子バスケット、野球、柔道)	第二中	GP三陸みやこ (軟式野球会場)
西側	行き	12:15	12:45	13:05	13:15	13:25	13:50
	帰り	17:45	17:15	16:55	16:45	16:35	16:10

	発着	東茂雄協	運動公園	市役所正面玄関前 (女子バスケット、野球、柔道)	崎山中	田巻一中	GP三陸みやこ (軟式野球会場)
南側	行き	12:25	12:35	12:55	13:10	13:30	13:45
	帰り	17:35	17:25	17:05	16:50	16:30	16:10

【各学校への周知説明文：軟式野球、女子バスケ】

2. 実証内容と成果

参考資料 地域クラブ活動写真：ラグビーフットボール競技



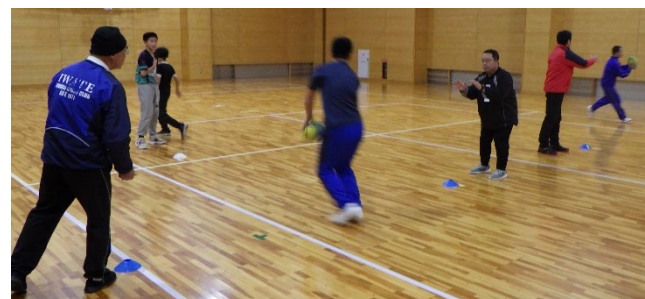
【 開 会 】



【アタック練習】



【 指導者紹介 】



【ラグビー：パス練習】



【試合形式での練習：タッチゲーム】



【 ウォーミングアップ 】



【 オフェンス・ディフェンス練習】



【 閉 会 】

2. 実証内容と成果

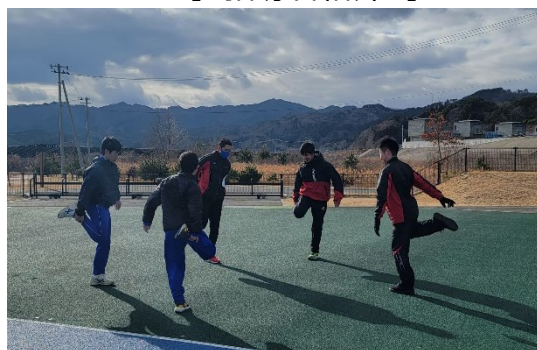
参考資料 地域クラブ活動写真：陸上競技



【開会】



【指導者紹介】



【ウォーミングアップ】



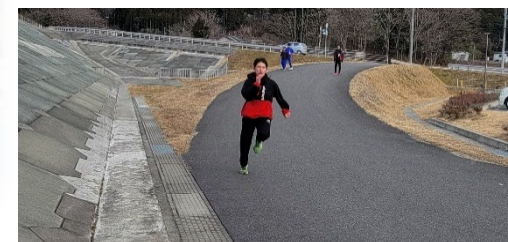
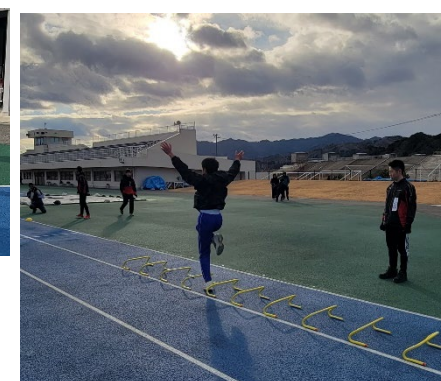
【ウォーミングアップと体の調整力向上】



【ウォーミングアップと体の動き作り】



【ミニハードルで走るリズム作り】



【坂道ダッシュ】

【閉会】



2. 実証内容と成果

参考資料 地域クラブ活動写真：軟式競技



【開会】



【指導者紹介】



【ウォーミングアップとリズムにのって体の調整力向上】



【キャッチボール・キャッチボールクラシック】



【打撃班：置きティーバッティング・打球速度・スイング速度測定】



【守備班：ノック】



【閉会】

2. 実証内容と成果

参考資料 地域クラブ活動写真：女子バスケットボール競技



【 開 会 】



【 指導者紹介 】



【 シューティング練習 】



【対人練習：2 on 2】



【 ドライブ練習 】



【ゲーム形式】



【ウォーミングアップとアイスブレイク】
※タグラグビー



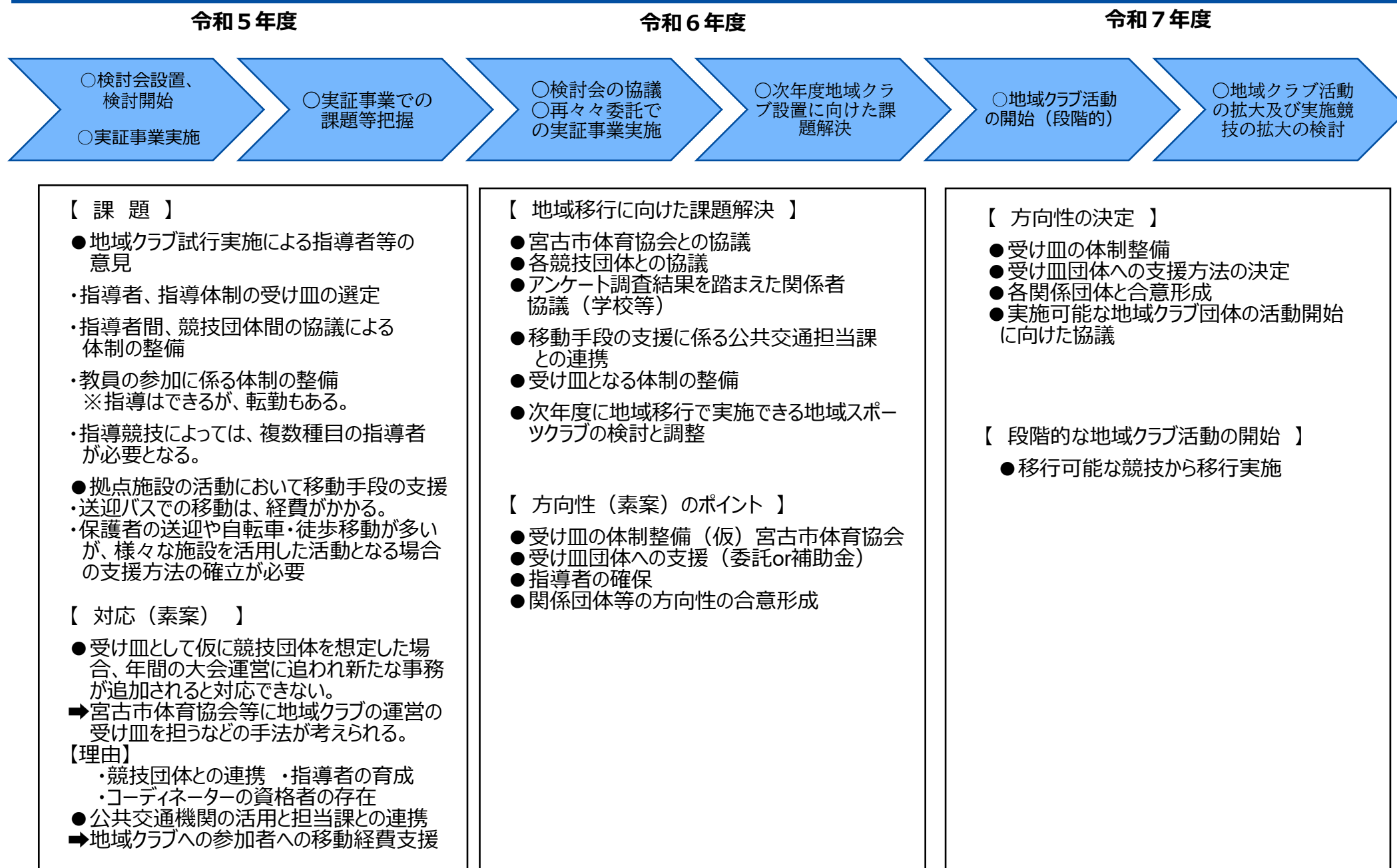
【 対人練習：1 on 1 】



【 閉 会 】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
宮古市・ 市教育委員会	●実証事業実施 ・アンケート調査・取纏め ・地域クラブ試行実施 ●実証結果の取纏め ●学校関係者への説明の実施	●実証事業実施 ・地域クラブ試行実施 ●受け皿となる体制の検討 ・各関係団体との協議・調整	●実証事業実施 ・受け皿となる団体等による一部競技での地域クラブの試行実施 ●地域クラブ実施準備
	○具体的取組み ・アンケート実施（市内全中学校、小学校（4～6年生）、関係団体等） ・地域クラブ活動（試行） ラグビー、陸上、軟式野球、女子バスケットボール ・校長会での説明	○具体的取組み ・委託による地域クラブの実施 ・前年のアンケート結果を踏まえた体制の検討 ・受け皿体制の整備に係る関係団体協議（検討委員会関係、学校関係、競技団体関係、PTA関係、外部指導者等）	○具体的な取組み ・受け皿体制での試行的な運営の協議 ※実施可能競技での試行的な地域クラブの実施 ・次年度の地域クラブ実施に向けた準備（地域クラブとしての団体登録、大会出場登録）
関係団体	●宮古市部活動地域移行検討委員会の開催 ●地域クラブ試行実施の指導者等打合せ	●宮古市部活動地域移行検討委員会の開催 ●受け皿としての体制の検討（学校関係、競技団体関係、外部指導者関係）	●宮古市部活動地域移行検討委員会の開催 ●受入れ体制の団体の試行な地域クラブ運営の実施
	○具体的な取組み ・検討委員会での意見 ・試行的練習会の開催に伴う意見の徴取	○具体的な取組み ・検討委員会での意見 ・指導者、競技団体との体制の協議 ・指導者の育成への協力・連携	○具体的な取組み ・受入れ体制の整備に伴う試行的な地域クラブの実施 ※実施可能な競技で試行